

News Release

<報道関係各位>

ピジョン株式会社
2017年1月31日

まだまだ実感がわからない新米パパ必見！
愛妻の日から、赤ちゃんとのこんなスキンシップを始めてみませんか？
“1日1回の授乳がパパを変える”
「パパチチしよう。」動画を公開！
特設サイト URL : <https://pigeon.info/bonyu/papachichi/>



ピジョン株式会社（本社：東京、社長：山下茂）は、「愛妻の日」である2017年1月31日(火)より、『パパチチしよう。』動画を公開いたします。（正式タイトル：パパチチしよう。～1日1回の授乳がパパを変える。～）

先進国の中でも父親の育児参加が少ない日本（※2）において、ピジョンは“幸せも分けあえる、“パパと一緒に母乳育児”というメッセージとともに、父親も母乳育児と授乳をすることがきっかけとなり、日本の父親の育児に対する意識を自然に変えることができるのではないかと考えています。

ピジョングループの社是にもある「愛を生むのは愛のみ」をもとに、父親が授乳を経験するたびに、赤ちゃんへの愛情が深まり、父親としての自覚が芽生えていく様子を映した動画を制作いたしました。

赤ちゃんに接するきっかけがつかめないパパがまだまだ多い日本の育児が、“1日1回パパが授乳する”ことをきっかけに、こんな風に自然に変わってほしい。そんな願いを込めて、ピジョンは1日1回のパパによる授乳、“パパチチ”を提案します。

■「パパチチしよう。～1日1回の授乳がパパを変える。～」動画 概要

初めてのわが子。パパになったのは嬉しいけど、まだまだ実感がわからない。どう赤ちゃんに接すればいいの？自分ができることってなに？なかなかきっかけがつかめなかったパパが、あるとき、1日1回の授乳を決意します。さく乳した母乳が入った哺乳びんを受けとって、ママといっしょに母乳育児をスタート。

82.9%の父親がふだん赤ちゃんに授乳をしていない(※1)ことがわかりました。そんなパパたちが、母乳育児や授乳の喜びを知っていただくきっかけになれば、と願っています。

■報道関係各位からの問い合わせ先：『パパチチしよう。』PR事務局(マテリアル内)

TEL:03-5459-5490/FAX:03-5459-5491/MAIL:1g@materialpr.jp 担当:房 070-3621-8685/竹中 080-9813-9775

■商品についての問い合わせ先：お客様相談室 TEL:0120-741-887 URL : <https://pigeon.info/>

【タイトル】パパチしよう。～1日1回の授乳がパパを変える。～

【映像尺】3分33秒【公開開始】1月31日(火)0:00

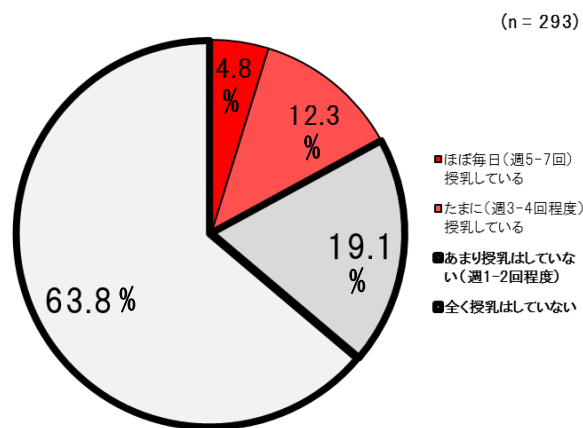
【特設サイト】 <https://pigeon.info/bonyu/papachichi/>

【YouTube】 <https://www.youtube.com/watch?v=MotwzNxrdKw>

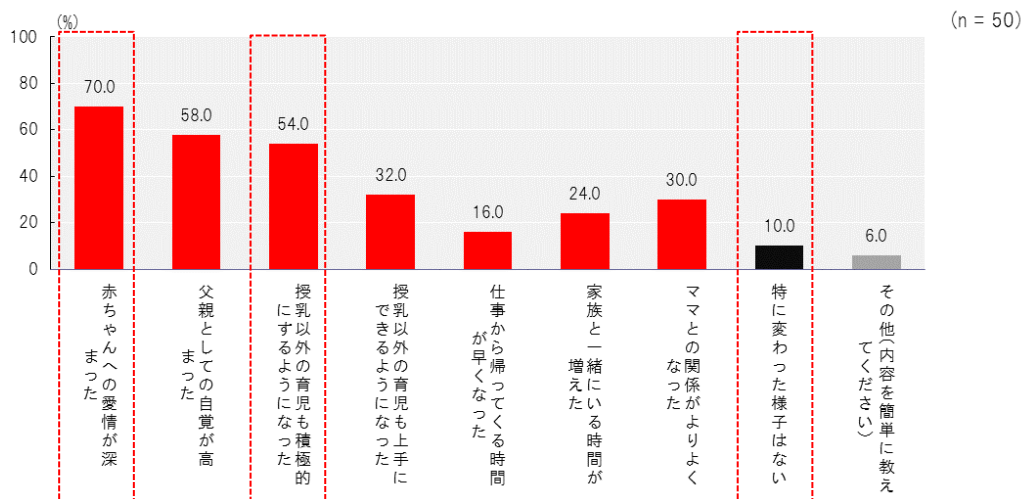
※ピジョンは、ママが直接おっぱいをあげられない時に、さく乳器を活用し、保存した母乳を赤ちゃんにあげることを推奨しています。

※1 父親の授乳経験・育児参加に対する調査結果

Q：授乳中の赤ちゃんを持つ父親の授乳頻度に関して



Q：授乳後の父親の変化に関して



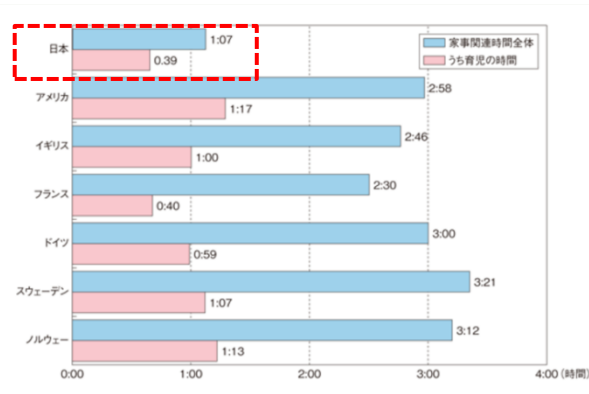
「特に変わった様子はない（10%）」と回答した方以外は何らかの意識変化が起きたと回答。授乳により変化したことに対して、「赤ちゃんへの愛情が深まった」と70%が回答。また、「授乳以外の育児も積極的になるようになった」と54%の方が回答。

※「ほぼ毎日（週5～7回）授乳している」「たまに（週3～4回程度）授乳している」と回答した方対象

【調査概要】

調査目的	: 授乳と卒乳についてのアンケート
調査方法	: WEB アンケート調査 ※ピジョンホームページ・ピジョン Facebook ページにてサンプル募集
調査対象	: 授乳中（母乳やミルクをあげている）の男女
有効回答数	: 293 名
調査期間	: 2016 年 12 月 23 日～ 2017 年 1 月 16 日

※2 父親の家事・育児に対する参加状況



-先進国の中でも圧倒的に家事の時間が少ない現状（※他の国に比べ、家事関連時間の参加は半分以下）

-うち育児に関わる時間は 39 分と調査対象国 7 개국中ワースト

(引用元)

1. Eurostat “How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men”（2004）、Bureau of Labor Statistics of the U.S. “American Time Use Survey”（2013）及び 総務省「社会生活基本調査」（平成 23 年）より引用。
2. 日本の数値は、「夫婦と子どもの世帯」に限定した夫の 1 日当たりの「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」の合計時間(週全体)である。

▼ストーリーボード



夜遅く帰宅した父親。
奥の部屋から赤ちゃんのグズる声が聞こえてくる。



あやす母親に気づくも、
どう接していいかわからない父親は、
ある決意をする。



夫婦で話し合った結果、
さく乳した母乳で“1日1回パパが授乳する”
という試みをスタートすることに。



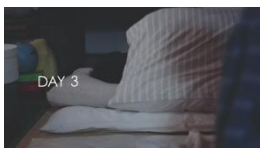
◆1日目◆
さく乳し、母乳が入った哺乳びんを
父親に渡す母親。



おそろおそろ哺乳びんで飲ませると、
赤ちゃんはグビグビ飲み始める。



◆2日目◆
沐浴させるもバスタオルを忘れ、大慌て。
慣れない育児に四苦八苦する。



◆3日目◆
夜泣きを尻目に、全く起きない父親。
育児に対する意識がまだ低い。



翌朝眠そうに授乳する父親。
“1日1回授乳する”という約束だけは
守っている。



◆5日目◆
オムツ替えでは、緑色のうんちに驚き、
慌てて母親を呼ぶ。



父「お腹すいてたんだ…」
赤ちゃんの行動に関心が向き始める父親。



◆7日目◆
赤ちゃんの表情も細かく観察し、
自分に似ているかもと、気づく父親。



◆10日目◆
夜遅く帰宅した父親だが、
1日1回の授乳は欠かさない。



◆14日目◆
オムツ替えも難くこなし、
慣れた様子で育児に取り組む。



◆19日目◆
父「今ね、俺に笑いかけたの」
授乳するたび、赤ちゃんへの
愛情が深まっていく。



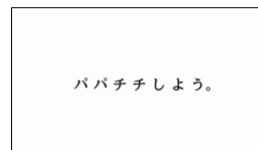
手馴れた様子で冷凍していた母乳を
解凍していく父親。



N : 82.9%の父親が、ふだん子供に授乳を
していません。



N : 1日1回の授乳がパパを変える。
リラックスした父親の授乳風景。



N : パパチチしよう。



赤ちゃんと一緒に眠る父親の
微笑ましい光景。



C.I.